

12月

# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

## サザンカ 山茶花

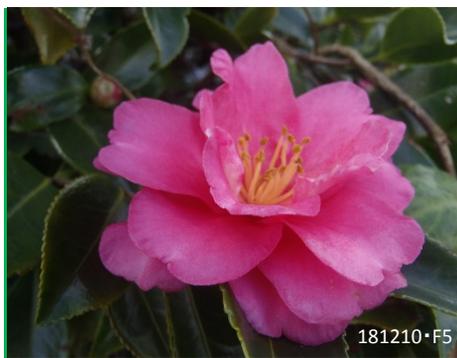
花の無い時期に咲く貴重なツバキ科ツバキ属の耐寒性常緑高木です。花色には桃色、赤、白等があります。サザンカはツバキと違って、葉縁がギザギザしており、花弁がバラバラに散る。



181210・G5

## カンツバキ 寒椿

サザンカとツバキの交雑種と言われ、よく分枝するが背丈は低い。冬の間、紅、白、桃色の花を咲かせます。山茶花と同じで花弁はバラバラに散る。



181210・F5

## ヤブツバキ 藪椿

椿の仲間は200品種を越える園芸品種が作成されていて、日本に自生している野生種はこのヤブツバキと、その変種とされるユキツバキとヤクシマツバキの3種だけです。「つばき」の語源は、厚葉木(あつばき)または艶葉木(つやばき)といわれている。



181217・J5



181210・G5



181210・F5

## ボケ 木瓜

日本、中国を原産とするバラ科ボケ属の落葉低木。枝にはとげが生えており、短い枝に花がびっしりとつきます。果実が瓜に似ており、木になる瓜で「木瓜(もけ)」とよばれたものが「ぼけ」に転訛したとも言われる。



181210・G5



181210・F5



181215・Q3



181210・G5

\* 山茶花は  
芯が立ちやすく樹高が高くなる  
花びらが少ない 5~10枚ほど  
しわになるものが多い

\* 寒椿は  
芯が立ちにくく背が大きくなりにくい  
花びらが多い 14枚以上  
しわしわにならない



181215・Q3

# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

## ローズマリー

地中海沿岸に分布する常緑性の低木です。強い芳香があってハーブとして利用される。葉っぱは3cm程の短い棒状で濃緑色、表面には光沢があります。冬から秋にかけて葉の付け根に淡紫色の花を咲かせます。満開時は枝がたくさんの花で彩られます。



181215・Q3



181215・Q3



181210・I5



181210・I5



181210・I5

## コバノランタナ

### 小葉のランタナ

コバノランタナは桃色や白色の花を咲かせる匍匐性の低木です。ランタナと同じ仲間である南アフリカ原産の植物で寒さにはあまり強くありませんが、暖地では庭植えて越冬させる事ができます。



181215・Q2



181215・Q2

## ユキヤナギ 雪柳

バラ科シモツゲ属の落葉低木。株元から枝をたくさん出してわさわさと茂ります。緩やかなアールを描きながら長くしなやかに枝垂れる枝と株を被うほど咲く白い花が特長です。



181210・I5

## シモツゲ 下野

バラ科シモツゲ属の落葉低木。地際からたくさんの枝を出して広がり、葉は長楕円形で長さ5cm~10cm、秋に紅葉します。主な開花期は晩春~初夏、淡い紅色の小さな花をたくさん咲かせます。



181215・H5

## ランタナ

真ん丸に咲く花の色が少しずつ変化していくのが特徴。基本種は咲き始めがオレンジ色で徐々に黄色に変化していきます。その様子からシチヘンゲ(七変化)の別名がついています。



181215・Q2

# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

## ナワシログミ

枝の先は、しばしば棘になる。マツ林などの明るい二次林や林縁などに生育している。葉の表面には星状の毛が点々とあり、独特の模様となっている。果実は4月から5月の「苗代」を作るころに赤熟するので、ナワシログミの名がある。



## トベラ 扉

4~5月になると枝先に芳香のある白い小さな花をたくさん咲かせて丸い果実ができます。

果実は10月頃に熟して3つに裂け、ねばねばとして糸を引いた赤いタネが中から出てきます。雌雄異株で果実は雌株にできます。



## ユズリハ 譲葉

葉は厚くて光沢があり色は濃い緑色で葉と枝をつなぐ軸(葉柄)の部分が赤味を帯びています。新旧の葉の世代交代がユズリハの場合「若葉が生えそろったら→古い歯が一斉に枯れ落ちる」というふうに短期間にはっきりしています。



## シャリンバイ車輪梅

バラ科シャリンバイ属の常緑低木。小枝を車輪状に出して、5月に梅に似た白い花を咲かせるところからシャリンバイの名前があります。花後には直径1cmほどの球形の実を付け、10月頃に熟して黒紫色になります。



## ハマゴウ 浜栲

海岸に生育する常緑の低木。本州・四国・九州からアジア東南部から南大西洋、オーストラリアにも分布している。葉の裏面には灰白色の毛が密生しており、白い。夏に美しい唇形の花を咲かせる。花冠は長さ1~1.5cmで青紫色。



## マルバシャリンバイ

### 丸葉車輪梅

葉が丸いシャリンバイです。花は白~薄紅色で、晩春に梅に似た花を咲かせます。晩夏~秋に黄緑色の球形の果実を成らせその後熟して黒くなります。



## マサキ 柁

葉は楕円形で縁にゆるやかなぎざぎざが入り、革のような光沢があり厚めです。

夏に緑がかった白色の小花を咲かせ、冬には赤い実を付けます。熟した実は3~4つに裂けて、中から赤黄色の種子が現れます。

# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

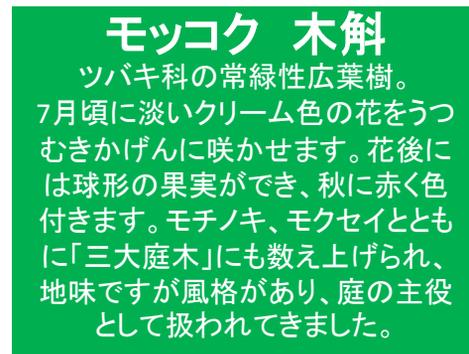


## ピラカンサ

ピラカンサはトキワサンザシ、  
タチバナモドキ、カザンデマリ等の  
バラ科トキワサンザシ属の  
種類の総称。  
常緑性の低木で、  
春に白い小花を咲かせ、  
秋から冬にかけて赤や柿色の  
果実をたわわに実らせる。

## タラヨウ 多羅葉

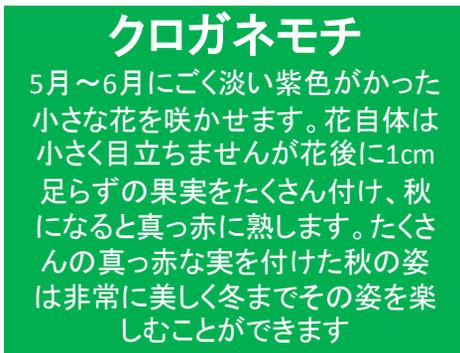
モチノキ科モチノキ属の常緑高木。  
雌雄異株で、花期は4~5月頃、  
4mmほどの小さな淡黄緑色の花が  
群れて咲く。秋には8mmほどの小さ  
な球形の赤い実がなる。葉の裏面を  
傷つけると字が書けることから  
「葉書」の語源ともいわれ、「郵便局  
の木」と定められ各地の郵便局に  
植栽されています。



## タチバナモドキ

## モッコク 木斛

ツバキ科の常緑性広葉樹。  
7月頃に淡いクリーム色の花をうっ  
むきかげんに咲かせます。花後には  
球形の果実ができ、秋に赤く色  
付きます。モチノキ、モクセイととも  
に「三大庭木」にも数え上げられ、  
地味ですが風格があり、庭の主役  
として扱われてきました。



## クロガネモチ

5月~6月にごく淡い紫色がかつた  
小さな花を咲かせます。花自体は  
小さく目立ちませんが花後に1cm  
足らずの果実をたくさん付け、秋  
になると真っ赤に熟します。たくさ  
んの真っ赤な実を付けた秋の姿  
は非常に美しく冬までその姿を楽  
しむことができます



# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

## クコ 枸杞

ナス科の落葉低木で、食用や薬用に利用される。開花期は夏から初秋で、直径1cmほどの小さな薄紫色の花が咲く。果実は1cm~1.5cmほどの楕円形で、赤く熟す。



181217・K5



181210・H5



181210・I5

## ソシンロウバイ

### 素心蠟梅

葉の展開に先立って、花径2センチくらいの花をたくさんつける。ロウ細工みたいな花卉と嫌みのない芳香が特徴。蠟梅(ロウバイ)は内側の花被片が濃い紫色になるのだが、素心蠟梅(ソシンロウバイ)は花被片全体が黄色くなる。



181215・H5



181215・I5



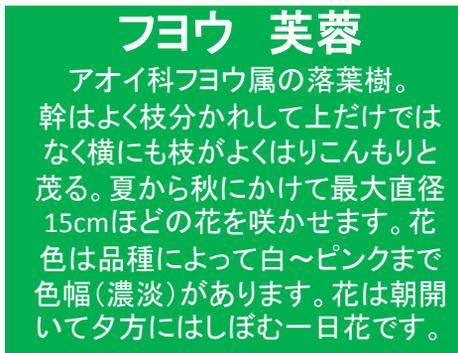
181217・G5

## ニシキギ 錦木

枝にコルク質の翼が四方につき、葉は楕円形で、秋に紅葉する。紅葉した美しい姿を「錦」に例えられて錦木の名前が有ります。5月ごろ、黄緑色の小花が咲き、実は赤く熟す。庭木にされ、枝に翼のないものをコマユミ(類似種)という。



181210・I5



181215・G5

## フヨウ 芙蓉

アオイ科フヨウ属の落葉樹。幹はよく枝分かれして上だけではなく横にも枝がよくはりこんもりと茂る。夏から秋にかけて最大直径15cmほどの花を咲かせます。花色は品種によって白~ピンクまで色幅(濃淡)があります。花は朝開いて夕方にはしぼむ一日花です。



181215・G5

## アセビ 馬酔木

馬が食すと酔ったように苦しむことに由来します。茎葉に有毒物質のアセボトキシンが含まれており人間が誤って口にすると腹痛、嘔吐などの症状を起こすことがあります。春にスズランのような甘い香りのする白い花を楽しむことができます。



181210・H5



181215・G5

# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

## スイセン 水仙

ヒガンバナ科スイセン属の多年草。  
春を告げる草花として  
古くから親しまれています。  
スイセンの仲間はおよそ30種の  
野生種があり、全草に毒性があり、  
葉っぱがニラ、球根がタマネギと  
間違えられて食中毒を起こす  
ケースがよく見られます。

## ニホンズイセン



## オステオスペルマム

おもに南アフリカに分布する毎年花  
をさかせるキク科の草花。以前は  
ディモルフオセカと混同されて売られ  
ていましたが、多年草で花茎に葉が  
つくなどの違いがあります。強い日  
差しを好み、乾燥に強いという性質  
は共通しています。花は日差しに反  
応して開き、日陰や雨の日は蕾のま  
まになります



## コギク 小菊

「野菊」ではなく、観賞用の園芸品  
種としての「家菊」で、小菊とは直  
径が9cm以下のものをいう。キク  
栽培の起源は中国であり、唐の時  
代(奈良時代)に大いに改良され、  
日本にも伝えられた。日本でも独  
自の改良がなされ、今日の隆盛に  
いたっている。



## ツワブキ 石蓼

毎年花を咲かせる多年草です。主  
に海がごく近い海岸線に自生しま  
す。葉の表はワックスのような層で  
コーティングされており、ツヤツヤ  
した光沢があります。秋から冬に  
地際から長く花茎を伸ばして、キク  
に似た一重の黄色い花をまとめて  
咲かせます。



## シロタエギク

### 白妙菊

寒さには強いが高温多湿にやや  
弱い常緑多年草で、草丈50~  
100cmくらいになり、茎の下部は  
木質化する。葉は長さ10cmくらい  
で羽状の切れ込みがあり、茎や  
葉は緑だが白い繊毛があり、6月  
か7月頃に黄色い花が開花する。



## シャスタデージー

フランスギクに日本のハマギクを  
交雑してつくられました。  
白色の舌状花と黄色の筒状花で  
形成される集合化です。  
八重のシャスタデージーです。



## ゼラニウム

花は一重、八重などがあり、色は  
赤、紅、淡紅、ピンク、サーモンピ  
ンク、白などがあります。葉は丸っ  
こく、馬のひづめ型の黒っぽい斑  
紋が付きまます。茎は多肉質で太く、  
葉のつけ根から花茎を伸ばして  
先端に数十輪の花をボール状に  
まとめて咲かせます。



# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月



## プリムラ・ジュリアン

サクラソウ科サクラソウ属の園芸植物。冬から春の花が少ない時期に、赤、白、ピンク、紫、黄色などのポップな色彩の花を咲かせる草花です。

## マリーゴールド

主に春にタネをまき、夏～秋に花を楽しみ、冬前には枯れる一年草です。花色は黄色、オレンジ、赤など暖色系が多いですが、珍しいものでは白やクリーム色の花も知られています。

## ベゴニア

シュウカイドウ科シュウカイドウ属に属する植物の総称。原種を交配し、多くの種や品種がつくられたため、それらの性質は多様である。共通する特徴は、葉の形が左右非対称であること、花は雌雄別であり雄花は4枚、雌花は5枚の花びらをもつことなどである。



## ガザニア

主な開花期は初夏-秋で長く伸ばした花茎の先端に1輪の花をさかせます。色は黄色、ピンク、オレンジ、赤、白などがあり、蛇の目模様や2色咲き(バイカラー)、ストライプなど非常にカラフルです。。花は晴れた日中に開き、日の射さない曇りや雨、夜間は閉じます。

## キンギョソウ 金魚草

キンギョソウは地中海沿岸(南ヨーロッパ・北アフリカ)に分布する植物です。花茎をまっすぐ上に向かって伸ばし、穂状にたくさんの花を咲かせます。花の姿がひれを広げて泳いでいる金魚に見立ててキンギョソウの名前があります。

## ガーデンシクラメン

サクラソウ科シクラメン属日本の農家が寒さに強い系統を選抜、交配し開発した品種です。通常のシクラメンは霜に当たると、一発でダメですが、ガーデンシクラメンは弱るものの枯れるわけではありません。お庭に露地植えるのに向いています。



# ↓アジュール舞子の草花・花木 12月

## イオノプシディウム

アブラナ科の植物で、小さい株を覆うように、とても小さい花が咲きます。花は十字形で、環境により白～紫色に変化します。それほど強くはありませんが香りがあります。葉もとても小さく、丸いかたちをしています。



## ホトケノザ 仏の座

葉のつき方が「仏の蓮座」に似ていることからこの名がついた。春の七草のホトケノザはキク科のコオニタビラコのことでは異なる。幼苗期にはオオイヌノフグリに似ているが、ホトケノザの方が細長く伸び、やや赤みを帯びていることが多い。



## コマツヨイグサ 小待宵草

アカバナ科マツヨイグサ属の越年草または多年草。砂地などに生える

**環境省指定要注意外来生物。**



## ナズナ 薺

別名 ペンペン草 三味線草  
アブラナ科ナズナ属の越年草。田畑や荒地、道端など至るところに生える。ムギ栽培の伝来と共に日本に渡来した史前帰化植物と考えられている。春の七草の一つで、若苗を食用にする。かつては冬季の貴重な野菜であった。



## ヒメオドリコソウ

ヨーロッパが原産のシソ科の二年草です。畑や道端などに生え、高さは10～25cmほどです。葉は心形で対生し、網目状の葉脈が目立ちます。上部の葉は赤紫色を帯びています。3月から6月ごろ、小さなピンク色の唇形花を咲かせます。

## チチコグサ 父子草

キク科ハハコグサ科の植物。母子草は春の七草のオギョウの別称で親しまれ野の花として風情があるが、父子草は形は面白いが地味な植物。母子草が白い毛に包まれた柔らかな姿に黄色い花が映えるのに対して、父子草には全体に色気が少ない。そこが父子草たるゆえんかも知れない。



181215・I5

## カメリア エリナ・カスケード

ツバキ科ツバキ属の常緑中低木です。椿の仲間で、中国の野生種を改良した園芸品種です。枝が細いので湾曲し、先端が下垂する枝垂れ性の椿で、春、白色で外弁花が薄桃色の小花を咲かせます。別名 姫山茶花とも言われています



181217・H4

## ブタナ 豚菜 (タンポポモドキ)

キク科エゾコウゾリナ属の多年草。ヨーロッパ原産で、日本では外来種(帰化植物)として各地に分布。  
**環境省指定要注意外来生物**



181215・I5

## レンギョウ 連翹

モクセイ科の落葉性低木。細長い枝を地際からたくさん伸ばして茂ります。開花期は春で、枝を埋め尽くすほどたくさんの黄色い花を咲かせます。花びらは基部から深く4つに裂けてやや斜めに開きます。



181217・I5

## ナノハナ 菜の花

菜の花(なのはな)は、アブラナまたはセイヨウアブラナの別名のほか、アブラナ科アブラナ属の花を指す。菜とは食用の意味であり、菜の花とは食用の花の意味である。春、一面に広がる菜の花畑は壮観で、代表的な春の風物詩でもある。



ハナナ(花菜、菜花)

181215・G5